

II 花き(切花)情報

2月(中旬)までの経過

昨年11月上旬から品不足・需要高が続き、1月中旬には業務需要の高まりから単価が高騰したところであるが、1月下旬以降は西南暖地からの入荷が増え、高値疲れもあり、落ち着いた相場となった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	1月下旬は前年をやや下回り、2月上旬・中旬は前年をかなり下回った。
相場	1月下旬は前年を大幅に上回り、2月上旬・中旬は前年をかなり上回った。
動向	イベント等の需要も落ち着き、洋花の入荷も増え、年末年始から続いた高値相場がひと段落した。

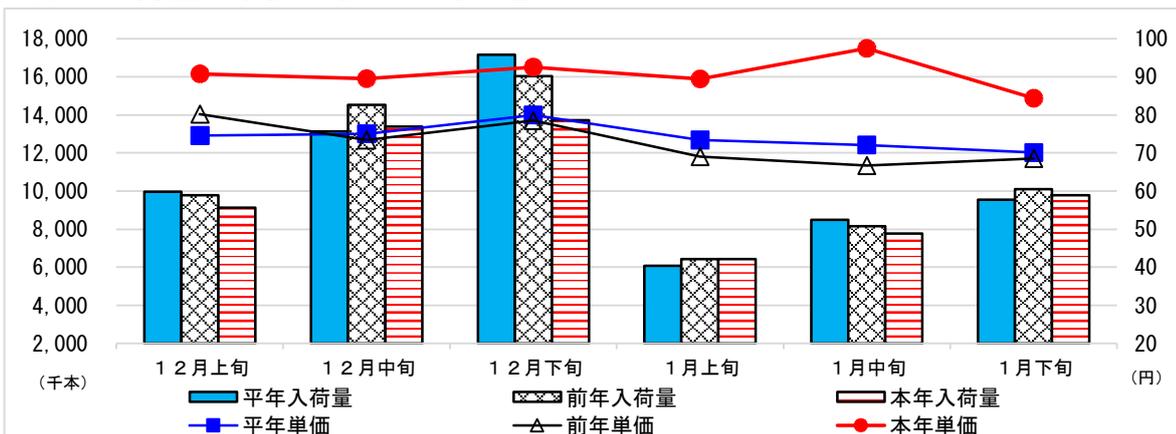
品目別経過

品目	経過
ストック	(株)フラワーオークションジャパン 2月に入っても、気温の低下、降雪の影響により入荷量は増えつつも、前年を下回る入荷となった。
バラ	(株)大田花き 寒気とコスト高の影響で国産の出回り数量減となった。フラワーパレンティンは、国内でも赤やピンクのスタンダードバラは引き合い強まったが、海外での盛り上がりはさらに大きく、中国産などは入荷量減となった。
カラー	(株)大田花き 湿地性、畑地性ともに出回り量が少なく、月をとおして高値での取引となった。

3月の見通し

品目	見通し
コギク	(株)世田谷花き 上旬から少しずつ入荷増える見込み。お彼岸需要で引き合いがあり、単価は強めか。赤は少ない見込み。
カーネーション	(株)世田谷花き 引き続き入荷不安定で強保合いの見込み。
ガーベラ	(株)フラワーオークションジャパン 例年並の需要が見込めており、生産も順調なため、相場も昨年並には上がる見通し。

1月の入荷量と単価の経過<確定値>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均